

令和6年度の教育活動等に関する学校評価

基本区分：1)教育、2)連携、3)運営

九州女子大学附属鞍手幼稚園

No.	区分	[業務事業] 具体的施策	今年度の取組に対する自己評価	学校関係者の評価
1	教育	[保育内容の充実]	豊かな自然環境や広大なグラウンドを十分生かした体験型保育内容を中心に据えて、子どもの心身の健やかな発育発達を育む保育実践を構築した。	年長のキャンプや親子遠足などたくさんの活動があることが良い。
2		[子ども子育て支援の充実]	地域に根差した「乳幼児期の子どもの発達の支援センター」として総合的に取り組み、内容を充実させていった。	未就園児教室やベビービクス等のイベントがあって良かった。
3	連携	[学園設置大学との連携の充実]	大学の教職員と連携して幼児教育の内容、方法などの研究を実施している。さらに実習園として実習生を受け入れ、幼児教育者としての学びの場を提供するとともに、幼稚園での様々なボランティア活動の参加を呼びかけ、園の教育や運営への協力体制を整えた。	学生の快活な雰囲気が幼稚園をさらに賑やかにしてくれているように感じた。
4		[地域連携]	保護者と一体となった幼稚園運営を目指し、様々な場面で協力体制が整った。さらに地域住民と交流を深め地域行事にはできる限り参加していった。	多くの行事に保護者の参加が見られ一体感がある。
5		[小学校との連携]	小学校との接続を見通した教育課程を変遷した。教員による在園児卒園児の進学校に出向き、連絡会を行ったり、就学前に小学校教員による模擬授業を行うなどした。	今後小学校が統合するので、より連携が強化されることを期待している。
6	運営	[職員研修]	年度当初と夏季保育時に補助職員を含む全職員の園内研修を実施し、全クラス公開保育を定期的実施してその後の振り返りと勉強会を実施した。	夏休み期間中にたくさん研修を受けていることを知りためになった。
7		[定員管理と広報の充実]	ホームページに園の教育方針や運営方針をわかりやすく伝え、更新は月平均2回程度実施した。SNSに週3回ペースで、園の教育方針及び運営に十分対応したものを掲載した。	ホームページの写真は日常の子どもの様子が見られるので保護者も楽しみに閲覧している。
8		[安全衛生対策危機管理体制の構築]	定期的に火災や地震の避難訓練を実施し、危機管理の意識の高揚を常に図る中で、協力体制を旨に保育時－災害時－登降園時など様々な場面の想定をして、安全衛生保育の充実を図った。	電子錠やバスの安全装置など施設としての安全面が年々向上していると感じた。
9		[学校評価]	年度当初に作成した教育課程の進捗状況について、各学期末に振り返り文章での報告を実施した。また、年度末に保護者のアンケートを実施し次年度への計画に生かしていった。	先生たちが4月からすでに1年の計画を立てていることがとても良いと感じた。